

【2019年2月19日付改訂様式】

西暦2021年5月7日

整形外科講座に通院中あるいは通院されたことがある患者さん実施した研究に参加された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当診療科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究及び治療で得られた試料及び情報（以下、臨床情報という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

臨床情報の利用停止のほか、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、「⑤お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究名：炎症性関節疾患における自然免疫受容体発現に関する病理学的検討

研究実施期間：倫理審査委員会承認日～西暦2021年3月31日

山形大学医学部倫理審査委員会承認番号：2021-53号

（承認日 西暦2021年5月7日）

① 西暦2015年4月1日～西暦2021年3月31日対象となる患者さん（研究の目的、臨床情報の利用目的及び利用方法）

炎症性関節疾患（関節リウマチ、変形性関節症、化膿性関節炎、人工関節周囲感染、人工関節周囲肉芽腫）の病態は未だ不明です。その病態は多様ですが、最近の研究により、免疫応答に関係する自然免疫受容体が、病態に関係することが知られるようになってきました。中でも自然免疫受容体のToll様受容体（TLR）とNod様受容体（NLR）、さらにこれらの受容体との相互作用が注目される選択的オートファジー（ゼノファジー、リソファジー）機構の役割が注目されています。そこで私たちは当科で手術を受けた患者さんの手術残余検体を分析して、炎症性関節疾患における生体反応機構を明らかにしたいと考えています。

この研究により、様々な炎症性関節疾患に対する新たな治療法・治療薬の開発に役立つことが期待されています。

② 利用する臨床情報

手術の際に切除した四肢関節軟骨・滑膜試料を用いる。得られた試料から組織切片・培養細胞を作成し、組織学的な検討を行う

③ 誰が使用するか（研究実施施設及び責任者（利用する者の範囲、臨床情報の管理責任者））

研究実施機関の名称：山形大学医学部附属病院整形外科学講座

研究責任者：高木 理彰

利用する者の範囲

氏名：	高木 理彰	所属機関：	整形外科	職名：	教授
氏名：	高窪 祐弥	所属機関：	整形外科	職名：	准教授
氏名：	赤羽 武	所属機関：	整形外科	職名：	病院助教
氏名：	宇野 智洋	所属機関：	整形外科	職名：	大学院生
氏名：	黄 漢卿	所属機関：	整形外科	職名：	大学院生

④ 研究への利用をやめてほしい場合

患者さんはいつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。

ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。

⑤ 問い合わせ先

臨床情報利用の停止、そのほか質問したいことなどがありましたら、下記の担当者までご連絡ください。

山形大学医学部附属病院整形外科学講座科

〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2

連絡先：TEL 023-628-5355 Fax 023-628-5357

E-mail：seikei@mws.id.yamagata-u.ac.jp

担当者：高木 理彰